

秘書グループ

1. 大阪狭山市功労者・善行者表彰

(1) 大阪狭山市表彰審査委員会

令和4年度功労者・善行者表彰にあたり、被表彰候補者の厳正かつ公平な審査を行うため、令和4年9月29日に大阪狭山市表彰審査委員会へ諮問し、10月3日に答申をえました。

(2) 大阪狭山市功労者・善行者表彰式

令和4年11月3日の文化の日に、SAYAKA ホールにおいて大阪狭山市功労者・善行者表彰式を行い、市民、団体及び本市に縁故の深いもので、市政または公益に関し功労のあった人に表彰状を贈呈しました。

・ 功労者表彰	自治功労の部	13人
	公安防災功労の部	5人

企画グループ

1．行政評価委員会の開催

令和4年10月31日に、市民や学識経験者等10名で構成する大阪狭山市行政評価委員会を開催し、行財政改革推進プラン2020及び第五次総合計画実施計画の令和3年度実績並びに第2期総合戦略の進捗状況に対する評価や意見をいただきました。

2．内部統制システムによる統制活動

地方公共団体を取り巻く様々なリスクに対し自律的に対応可能な体制を整備するため、大阪狭山市内部統制実施方針に基づき、職員が現金を取り扱う事務、義務を課す又は権利を制限する業務、許可（認可）する業務、伝票起票事務及びマイナンバー取扱事務について、内部統制システムによる統制活動を実施しました。

なお、内部統制システムによる統制活動の機能向上を図るため、PDCAサイクル手法（計画、実施、評価、改善を繰り返す手法）を用いるとともに、内部統制評価員による実績の評価を行い、さらなる業務改善に努めました。

3．広域連携の推進

平成24年1月から南河内3市2町1村（大阪狭山市、富田林市、河内長野市、太子町、河南町、千早赤阪村）の連携により開始した南河内広域共同処理事業が10年を経過したことから、これまでの成果や取り巻く環境の変化を踏まえた今後の広域事務室のあり方等について検証を行いました。

4．まちの活性化推進事業

令和4年2月に策定した「狭山ニュータウン地区再生推進計画」において掲げる4つのシンボルプロジェクト等、狭山ニュータウン地区の再生・活性化に向けた施策の推進に努めました。また、各種の取組みの進捗等については、市民、識見を有する者、関係団体を代表する者等17名で構成する「大阪狭山市狭山ニュータウン地区再生連絡協議会」に報告し、意見をいただきました。

地域住民等が主体となって組織する「狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議」では、令和4年10月29日に、自治会や帝塚山学院大学、さやま未来プランナーなど多くの方のご協力のもと、市立南第一小学校及び西山台地区内の公園において「第2回狭山ニュータウン魅力発見フェスタ」を開催し、多くの方に参加いただきました。

また、令和4年7月2日に、住民等による魅力情報の発信力強化を目的としたまちづくり講座を、令和5年3月11日には、にぎわいある魅力的なまちづくりを進めるために、空き店舗等の活用の課題や可能性について、自由な意見交換を行う場を提供することを目的としたまちづくり講座を、それぞれ開催しました。

5．ふるさと応援寄附金事業

本市へのふるさと納税の利用をさらに促進するため、本市に5,000円以上の寄附をしていただいた市外の方に贈呈する返礼品の充実を図るとともに、ポータルサイトの拡充を行いました。

また、返礼品提供事業者の協力を得られた一部返礼品画像の更新を実施し、返礼品のプロモーション強化を図りました。

(令和4年度実績)

寄附金の使い道	件数 (件)	金額 (円)
緑のまちづくりの推進に関する事業	73	2,680,000
地域福祉の推進に関する事業	58	1,778,000
文化の振興に関する事業	25	664,000
国際交流と国際理解を深める諸事業の推進に関する事業	19	459,000
子育て支援に関する事業	135	5,427,000
新型コロナウイルス感染症等対策に関する事業	16	540,000
市民公益活動の促進に関する事業	14	371,000
その他の事業	84	7,735,000
合計	424 (うち、市外の方 419)	19,654,000 (うち、市外の方 14,448,000)

人事グループ

1. 級別職員数及び平均給料

令和4年4月1日現在

区分	行政職給料表								計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	
職員数 (人)	28	44	57	97	45	50	10	16	347
平均給料 (円)	192,932	211,957	247,177	313,862	364,893	387,404	420,880	442,675	306,467

2. 予算科目別職員給与費

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目	科目別 職員数 (人)	給料	扶養 手当	管理職 手当	地域 手当	期末・ 勤勉手当	住居 手当	通勤 手当	時間外 勤務手当	特殊 勤務手当	その他	計
議会費	4	13,840	300	1,431	2,336	6,640	240	209	0	0	0	24,996
総務費	122	459,860	12,985	26,624	73,934	199,945	8,736	10,230	24,049	0	66,858	883,221
民生費	69	270,183	5,187	10,536	42,854	107,835	6,125	6,442	0	168	0	449,330
衛生費	28	114,809	3,750	3,195	18,263	52,093	1,644	1,411	0	1,009	0	196,174
農林水 産業費	6	24,057	988	1,224	3,940	10,541	276	166	0	0	0	41,192
商工費	3	11,825	420	714	1,944	5,450	0	270	0	0	0	20,623
土木費	26	94,811	2,928	4,608	15,352	41,844	2,368	1,892	0	25	0	163,828
消防費	3	12,211	516	561	1,993	5,646	0	24	0	0	0	20,951
教育費	61	235,679	6,262	12,449	37,862	99,695	2,935	3,336	13,498	0	0	411,716
計	322	1,237,275	33,336	61,342	198,478	529,689	22,324	23,980	37,547	1,202	66,858	2,212,031

(2) 国民健康保険特別会計

(単位：千円)

科目	科目別 職員数 (人)	給料	扶養 手当	管理職 手当	地域 手当	期末・ 勤勉手当	住居 手当	通勤 手当	時間外 勤務手当	特殊 勤務手当	その他	計
総務費	8	26,857	156	1,254	4,240	12,024	1,334	711	866	0	0	47,442

(3) 介護保険特別会計

(単位：千円)

科目	科目別 職員数 (人)	給料	扶養 手当	管理職 手当	地域 手当	期末・ 勤勉手当	住居 手当	通勤 手当	時間外 勤務手当	特殊 勤務手当	その他	計
総務費	10	34,416	474	1,224	5,417	15,170	978	509	3,380	0	0	61,568

(4)後期高齢者特別会計

(単位：千円)

科目	科目別 職員数 (人)	給料	扶 手 養 当	管 理 職 当	地 手 域 当	期 末 ・ 勤 勉 手 当	住 居 手 当	通 勤 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	その他	計
総務費	1	3,830	0	0	575	1,706	0	0	50	0	0	6,161

科目別職員数には特別職を含み、短時間勤務職員及び会計年度任用職員を除きます。

3. 職種別年齢別職員数

令和4年4月1日現在(単位：人)

区分	総数	20歳 未満	20～ 25歳	26～ 31歳	32～ 37歳	38～ 43歳	44～ 49歳	50～ 55歳	56～ 59歳	60歳 以上	平均年齢
総数	347	0	37	66	68	32	34	75	17	18	40歳11月
一般行政職	255	0	28	51	57	23	21	51	11	13	40歳3月
税務職	22	0	1	9	7	0	0	4	0	1	36歳4月
保健師	11	0	0	1	1	1	2	4	2	0	47歳2月
福祉職	17	0	2	1	3	2	4	4	1	0	42歳3月
技能労務職	13	0	0	0	0	0	6	5	1	1	51歳10月
教育職	29	0	6	4	0	6	1	7	2	3	42歳0月

4. 令和4年度中採用・退職者数

(単位：人)

区分	採用者数			退職者数		
	男	女	計	男	女	計
総数	19	11	30	11	3	14
一般行政職	17	4	21	8	1	9
税務職	0	0	0	0	0	0
保健師	0	0	0	0	0	0
福祉職	0	2	2	0	0	0
技能労務職	0	0	0	0	0	0
教育職	2	5	7	3	2	5

5 . 職員研修の状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

職員の能力開発や資質の向上のための職員研修を実施しました。実施状況は、次のとおりです。

区分	研修名	対象者	内容	受講者数 (延べ)(人)
内部研修 (階層別)	新規採用職員研修	新規採用職員	新規採用職員を対象に「人権問題」や「大阪狭山市の歴史的沿革」をはじめ、本市行政に関する基本的な知識の習得を図る。(計3件)	36
	行政実務基礎研修	新規採用職員	契約・法制執務等、行政事務に必要な基本知識について学び、日常業務で実践していく。(計3件)	41
	地方公務員法研修	主査級の職員	地方公務員制度の仕組みについて理解し、地方公務員法やその関連法の解釈と運用についての知識を習得する。	69
	地方自治法研修	主査級の職員	地方自治の枠組みを基礎付けている理念や制度を修得し、地方自治制度の全体像について認識を深める。	65
	説明力向上研修 (知識習得編)	主幹級の職員・課長補佐	市民・理事者・議員・組織内部を意識しながら、常に「公益」を最優先することを意識し、論理の破綻なく説明できる能力向上を図る。	34
	説明力向上研修 (実践演習編)	主幹級の職員・課長補佐	市民・理事者・議員・組織内部を意識しながら、常に「公益」を最優先することを意識し、論理の破綻なく説明できる能力向上を図る。	32
	議会答弁対応力向上研修	新任課長級の職員・課長補佐・主幹級の職員	座学により議会对応のポイントを学ぶとともに、演習にて模擬答弁を行う。	38
内部研修 (組織力向上)	SDGs研修	全職員	SDGs(持続可能な開発目標)に関する理解を深め、達成に向けたまちづくりを推進することを目的として実施する。	32
	人事評価者(1次評価者・2次評価者)研修	各所属の1次評価者(課長級・次長級の職員)・2次評価者(部長級の職員)	人事評価制度の趣旨や目的を理解し、具体的な事例をもとに評価演習を行う等、1次評価者・2次評価者として人事評価の実践力を養う。	48
	JIAM研修成果発表会	全職員	全国市町村国際文化研修所(JIAM)での研修成果の発表を行う。	11

区分	研修名	対象者	内容	受講者数 (延べ)(人)
内部研修 (課題別)	職員のコンプライアンス研修	全職員	地方公務員法上の「サービスの根本基準」について、再確認するとともに、大阪狭山市職員服務規程について、基本的な内容を再確認する。	430
	普通救命講習	新規採用職員等	病院到達前の心肺停止患者の救命率向上を図るために、職員が心肺蘇生法等を習得し、人命救護ができるようにする。	17
	安全運転講習会	全職員	公用車利用時における安全運転意識の高揚を図る。	35
	人権研修「部落問題と向き合うために」	全職員	改めて「部落問題(同和問題)」を知るとともに、私たち一人ひとりには部落問題とどのように向き合えば良いのか、現状と課題について考える機会とする。	46
	人権研修「“やりとりする力”を身に付けよう～コンフリクトワークから平和を考える～」	全職員	窓口対応や施策立案の中で、出合う様々な意見や考えについて、衝突や対立ではなく、平和的解決をめざすための「やりとりする力」を、「コンフリクト(紛争)」と「平和」をキーワードに学ぶ。	46
	人権研修「改正障害者差別解消法～できてますか?合理的配慮～」	全職員	改正障害者差別解消法の施行を控える中、各種事業や日々の業務における合理的配慮について、基礎知識から今後の施策への反映まで、様々な視点から学ぶ。	63
			小計 20件	1,043
広域共同研修	中部都市職員研修協議会研修	階層別、または指定職員	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員前期研修 ・採用面接官研修 ・新任課長研修 ・新任係長研修 ・民法演習研修 ・行政法演習研修 ・工事監理(土木)研修 ・接遇指導者養成研修 ・地方公務員法指導者養成研修 に参加(計9件)	43
			小計 9件	43

区分	研修名	対象者	内容	受講者数 (延べ)(人)
派遣研修	おおさか市町村職員研修研究センター(マッセ OSAKA)	全職員	職員の能力向上を図るため、マッセ OSAKA 主催の各種研修会やセミナー等に参加 (計 21 件)	23
	人権関係研修	各部署推せん	部落問題・人権問題に関する総合的・専門的知識の習得と考え方や姿勢を再認識するため、部落解放・人権大学講座、部落解放・人権夏期講座などに参加 (計 5 件)	7
	全国市町村国際文化研修所研修	指定職員	・次世代を担う若手職員育成研修 ・自治体職員のための行動経済学～ナッジを中心として～ に参加(計 2 件)	2
	その他の派遣研修	各部署推せん	技術職員研修、実務講習会などに参加(計 4 件)	6
			小計 32 件	38
合計 61 件				1,124

公民連携・協働推進グループ

コミュニティ活動推進関係

1. 大阪狭山市自治会地区会連合会助成金

助成団体名	加入地区数(地区)	交付金額(円)
大阪狭山市自治会地区会連合会	47	470,000

R5.3月末時点で加入地区数は48団体(3.28入会)

2. 地域力活性化支援事業補助金

申請団体数 26団体(実績団体数 26団体)

・交付内訳

補助対象事業名	事業数(件)	交付金額(円)
地域活性化事業	9	232,430
防犯活動事業	11	318,672
防犯資機材整備事業	4	189,614
地域イベント活動事業	21	1,880,399
合計	45	2,621,115

3. まちづくり円卓会議事業

特定非営利活動法人南中学校区円卓会議、第三中学校区まちづくり円卓会議、狭山中学校区まちづくり円卓会議に運営費補助金を交付しました。

補助金交付団体	補助金額(円)
特定非営利活動法人南中学校区円卓会議	61,579
第三中学校区まちづくり円卓会議	133,637
狭山中学校区まちづくり円卓会議	212,772

また、第三中学校区まちづくり円卓会議から提案のあった2事業及び狭山中学校区まちづくり円卓会議から提案のあった4事業の予算措置を行うとともに、これらの事業実施の支援を行いました。一部の事業が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

特定非営利活動法人南中学校区円卓会議には、大阪狭山市まちづくり円卓会議条例及び同条例施行規則に基づき、交付金として3,811,263円を交付しました。

4. 大阪狭山市まちづくり円卓会議条例市民アンケートの実施

大阪狭山市まちづくり円卓会議条例では、時代や環境の変化によって、本条例で定められている内容が実態と乖離が生じていないか、5年を超えない期間ごとに検討し、必要に応じ見直すものと規定されていることから、本条例改正の必要性を検討するための基礎資料を得ることを目的に、市民と円卓会議構成員へのアンケート調査を実施しました。

また、調査票とあわせて制度に関するリーフレットを送付し、本条例及びまちづくり円卓会議の周知を図りました。

5. 感染症予防対策支援事業

新型コロナウイルスの感染防止並びに感染予防対策を講じながらの活動を支援するため、自治会、地区会及び住宅会に対し、感染症対策用の物品購入費用に対して補助金を支給しました。

補助金交付団体数	補助額（円）
55 件	2,669,350

市民公益活動促進事業関係

1. 市民公益活動促進委員会

委員会は、市民公益活動の促進に必要な事項を調査審議する市長の諮問機関であり、現委員は、令和4年8月に委嘱し、構成は市民4人、事業者1人、学識経験者2人、その他2人、計9人で、任期は令和6年8月26日までです。

委員会を6回開催しました。令和4年度市民公益活動促進補助金交付申請事業の審査結果及び完了した補助事業に関する意見のとりまとめ、令和5年度市民公益活動促進補助金申請事業の募集等について審議しました。

また、委員会で設置した専門部会の評価部会において、令和4年度市民公益活動促進補助金交付申請に係る審査、補助対象事業の期中評価などを行いました。

2. 市民公益活動促進補助金

大阪狭山市市民公益活動促進条例の基本理念に基づき、市民公益活動を促進するために公募制で実施する補助金制度です。令和4年4月17日に実施した公開プレゼンテーションの審査を経て、4団体5事業に補助金を決定し、各事業の実績に基づいて補助金の交付を確定しました。

「自立促進部門」

【テーマ型】

番号	事業名	団体名	事業の概要	補助額(円)
1	地域で作る“生きづらいい人々の居場所”トビラファーム	特定非営利活動法人南大阪サポートネット	ひきこもりをはじめ、現代社会で生きづらさを抱える若者を対象に農園を居場所として提供し、食を通しての居場所づくり事業「地域食堂」を展開する。当事者と支援者及び地域の人たちとの交流に重点を置き、生きづらさを抱える若者が急増する現実をみんなで考える学習機会を積極的に設け、当事者や当事者家族に向けられる偏見差別をなくすとともに、理解を深める。	240,000
計	1事業	1団体		240,000

【提案型】

番号	事業名	団体名	事業の概要	補助額(円)
1	ひきこもりの若者たちが「EM 廃油石鹸」で未来との循環を作る	特定非営利活動法人南大阪サポートネット	ひきこもりの若者たちと支援者が、廃油を集めてEM 廃油石鹸をつくり、その石鹸を使ってもらうことを通して、社会との繋がりを持ち、自分にも社会にも優しい循環のある取組みとして社会に貢献することで、当事者が望む自分らしい生き方の実現を目指す。	211,000
2	市民の学び屋 Gotcha! (ガッチャ)	特定非営利活動法人ワークレッシュ	青少年を主な対象として、人と人をつなぎ、自身の心身を養う「ことば」と「食」をテーマにした連続講座を開催し、日常生活や仕事であつかう言葉や表現、調理や食事にまつわる一連の工程や作法について楽しく学び、実生活に活かし、人と心地よく付き合っていく力と知恵を養っていく。	169,000
3	”歌の力”で高齢者の孤立、孤独をサポートする「高齢者の歌声広場」	NPO 団体 グローバル・スクール	高齢者の孤独化を防ぐことを目的として、歌の力で元気になれるように、大きなスクリーンに映像と歌詞を映しながら、ピアノの生伴奏で昭和と平成に流行した歌謡曲などを楽しく全員で合唱する事業を実施する。	243,000
4	人も猫もしあわせなまちづくり～さくら猫 おそうじパトロール～	猫ともクラブ in 大阪狭山	外猫問題について知る機会や相談できる場を提供し、猫が好きでも嫌いでも、命と環境を守ることの大切さを知ってもらうためのイベント、交流会や清掃活動などを実施し、行動するきっかけづくりを目的とする。	212,000
計	4 事業	4 団体		835,000

3. 市民活動支援センター事業

- ・ 特定非営利活動法人大阪狭山アクティブエイジングが本市の委託と補助制度を活用し、市民協働事業として市民活動支援センター事業を実施しました。

委託料 (円)	10,734,000
補助金 (円)	1,800,000

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館時間の短縮やミーティングルーム等の利用人数の制限を行いました。
- ・ ボランティア・インフォメーション・コーナー (VIC) において、市民の主体的なボランティア活動やボランティア団体の活動が活発に展開されるように努めました。
- ・ 市役所南館 (2 階) を拠点として、ミーティングスペース、ミーティングルーム、団体への連絡・郵便物・ファクシミリの取次ぎに利用できるメールボックス、書類や物品の一時保管のための貸しロッカー、印刷機や複写機・紙折り機などを備えたワークステーションの設置、ウェブ会議や動画作成に活用できるパソコン・カメラ等の備品の貸出など市民活動の支援を行いました。
- ・ 団体の活動情報の収集と発信のための情報誌「News Letter Express」を 4 回発行しました。
- ・ 団体の活動を支援するため、市民活動支援セミナーや活動発表会、団体交流会等を実施しまし

た。

- ・ まちづくりにかかる人材の発掘と育成を図るため、「第 18 期まちづくり大学」を開講し、18 人が受講しました。
- ・ 「まちづくり大学」の修了者による「まちづくり研究会」の運営・活動支援を行いました。
- ・ 市民活動団体等が自らの活動内容を紹介し、市民に対し市民活動への理解や参加を促す場として、第 1 回わくわく市民活動・ボランティアフェスティバルを開催しました。

4. 公民連携事業

行政が抱える課題解決、市民サービスの向上、地域の活性化を目的に、民間事業者等のノウハウ、アイデアを積極的に活用する事業です。令和 4 年度は 2 件の包括連携協定を締結しました。

事業者	協定締結日
市内郵便局	令和 4 年 8 月 23 日
大阪府立狭山高等学校	令和 5 年 1 月 23 日

5. 市民・市民公益活動団体との協働事業

市民や NPO、ボランティアグループなどの協働事業に関する調査を実施し、令和 4 年度事業として、庁内から 146 事業の協働事業の報告があり、うち 2 事業については新規に取り組みされた事業でした。

6. 狭山池まつり補助金

狭山池まつり実行委員会が「大阪狭山市民のシンボルである狭山池の再発見、水との共生」「広く地域住民が集い交流できる市民まつり」「わが町の歴史・文化の振興と共有」「青少年の健全育成・人づくり・まちづくり」「本市の市民活動と経済の活性化」を目的に実施した事業に補助金 3,500,000 円を交付しました。

(1) 狭山池まつり 2022

開催日 令和 4 年 4 月 30 日

来場者数 約 40,000 人

(2) 通年事業（狭山池クリーンアクション）

第 1 回狭山池まつり開催後の平成 14 年 6 月から市民に広く呼びかけ、月 1 回以上、堤や河口の清掃・草刈などを継続して実施するとともに、平成 16 年度からは水質検査に取り組むなど、本市のシンボルである狭山池を、いつまでも美しいままに未来へ繋ぐための活動を行い、令和 4 年度まで通算 270 回の実施となりました。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動の一部は中止となりました。）

7. 特定非営利活動法人の設立認証等事務

市内のみに事務所を設置する特定非営利活動法人に係る事務手続きを行いました。

市内の法人数	27
--------	----

文化振興関係

1. 文化会館の管理及び運営

- 優れた芸術の鑑賞や市民の文化活動の発表の場である大阪狭山市文化会館（SAYAKA ホール）の管理運営を、指定管理者である公益財団法人大阪狭山市文化振興事業団が行いました。

指定管理料（円）	192,623,000
----------	-------------

- 鑑賞型事業では、劇団四季「人間になりたかった猫」を始め、桂文枝の独演会や大黒摩季コンサートツアーなどの公演等を開催しました。市民参画型事業では、さやま芸術祭、創造型事業では、南河内ジャズフェスティバルなどを実施しました。
- 文化会館を拠点に市民団体が行う文化活動を支援し、文化会館の活性化と市民文化の振興を図るため、文化振興事業団に対し、補助金を交付しました。

事業名	決算額（円）	内容
文化会館活性化事業費 補助金事業	1,080,000	「文化の花咲かそ補助金」の交付 (補助対象 8団体 8事業)

- 市民の教養を高め、文化向上に寄与することを目的に大阪狭山市文化協会に対し、補助金 400,000 円を交付しました。

国際化施策及び地域間交流関係

1. 都市間交流

姉妹都市アメリカ合衆国オレゴン州オンタリオ市、友好都市和歌山県日高郡日高川町との市民相互の交流を促進するため、大阪狭山市都市間市民交流協会に補助金 1,548,959 円を交付しました。

・主な事業内容

(1)オンタリオ市への学生派遣

令和 5 年 3 月 13 日から 3 月 27 日までの 14 日間、本市から大学生 5 人をオンタリオ市に派遣し、交流を深めました。

(2)日高川町との交流

例年、「日高川町寒川ワンダフルナイト」や「日高川町フォレスト祭」に参加していますが、令和 4 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

(3)市民版「こうりゅう」の発行

令和 5 年 1 月に、市民向けの「こうりゅう」を発行し、市広報誌に折り込みで全戸配布しました。

生涯学習支援関係

1. 生涯学習情報誌「ライフ・タイム」

市民の「学びたい」、「知りたい」、「学んだことを役に立てたい」という気持ちをサポートするための生涯学習情報誌「ライフ・タイム」を4回発行しました。

(単位：件)

発行ナンバー	73	74	75	76	合計
情報数	56	90	89	71	306

2. 生涯学習出前講座

市民団体やグループが実施する学習会などに市職員が講師として出向き、市政に関する説明や情報の提供、専門的な知識を生かした実習などを9回実施しました。

3. 生涯学習推進事業

令和4年3月にSDGsなどの国際的動向や人生100年時代を見据えた生涯学習の推進という国の動向など日々変化する社会情勢に対応しながら、生涯学習施策を展開することを目的として「大阪狭山市生涯学習推進計画」を策定しました。この計画の策定を機に、これから10年先に向けて、市民が「生涯学習とは何か」、「なぜ学びが必要なのか」を知る機会とし、「学び」を地域に展開するきっかけづくりや、「学び」を通じたネットワークをつくることを目的として、令和5年1月29日に生涯学習フォーラム「まちごとラボ」を開催しました。

広報プロモーショングループ

広報関係

1. 広報誌の発行

市民と行政を結ぶパイプ役として、広報誌を毎月1回1日付けで発行しました。

基本となる発行部数は27,700部で、市内全世帯と各事業所に配布しました。

年 月	主 な 内 容	頁数
令和4年5月号 No.639	<ul style="list-style-type: none">・特集 副池オアシス公園“リニューアル”しました・子宮頸がん予防のためのHPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンキャッチアップ接種を実施します・令和4年5月号から広報おおさかさやまは全ページカラーになります・市制施行35周年記念キャッチフレーズおよびシンボルマークが決定しました	28
令和4年6月号 No.640	<ul style="list-style-type: none">・特集 フレーフレイル予防・令和3年度市の財政事情をお知らせします・児童手当制度の改正・「第37回防災ポスターコンクール」防災担当大臣賞を受賞	28
令和4年7月号 No.641	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナワクチン接種情報・特集 夏休みイベント情報・7月10日「さあ投票 選挙の主役はあなたです」第26回参議院議員通常選挙・平和を考える市民のつどい	36
令和4年8月号 No.642	<ul style="list-style-type: none">・子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外の子育て世帯分）・移動販売等導入事業補助金・下水道マンホールふたデザイン投票結果発表・大阪狭山市 Instagram フォトコンテスト結果発表	28
令和4年9月号 No.643	<ul style="list-style-type: none">・特集 認知症を知る・令和4年度住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金・大阪狭山市地域ポイントさやりんポイントの使い方・狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト 第2回魅力発見フェスタ	32
令和4年10月号 No.644	<ul style="list-style-type: none">・特集 大阪狭山市市制施行35周年「笑顔の写真を掲載」・地域と共にある学校づくり・防災について考えてみませんか・中学3年生、高校3年生相当、障がい児などのインフルエンザ予防接種費用を一部助成	32
令和4年11月号 No.645	<ul style="list-style-type: none">・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金・市循環バスのルートの一部変更します・2022年第15回大阪狭山市産業まつり・令和3年度わたしたちのまちの報告書	36

令和 4 年 12 月号 No.646	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪狭山市地域ポイントさやりんポイントプレミアムチャージキャンペーン ・ 年末年始の業務案内 ・ はたちの集い ・ 桜まつり～冬～大阪狭山イルミネーション 	32
令和 5 年 1 月号 No.647	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「コロナの疑いがある」「コロナ陽性になった」場合の流れ ・ 特集 もっと身近に もっと便利に 市循環バス ・ 令和 5 年度市・府民税の主な改正点 ・ 新春こどもまつり 2023 	32
令和 5 年 2 月号 No.648	<ul style="list-style-type: none"> ・ おおさかさやまの伴走型相談支援と出産・子育て応援ギフト ・ 確定申告会場、確定申告の注意点 ・ 狭山ニュータウン地区 次世代へつなぐシンポジウム ・ 第 1 回わくフェス 	28
令和 5 年 3 月号 No.649	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統一地方選挙 ・ きらっとぴあフェスタ～サステナブルで自分も周りも HAPPY 循環～ ・ 転出届はマイナポータルからも可能に ・ 桜まつり～春～ 	28
令和 5 年 4 月号 No.650	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特集 令和 5 年度予算・市の主要事業 ・ 統一地方選挙特集 ・ 運転免許証の自主返納で ICOCA カードの購入を補助 ・ 狭山池まつり 	36

2. 声の広報の発行

目の不自由な人を対象に、市民のボランティア団体との協働により、広報「おおさかさやま」の主な記事を DAISY 規格により CD に録音した声の広報「おおさかさやま」を、毎月 1 回作成・送付しました。

3. 報道機関との連絡調整

朝日新聞社・産経新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・共同通信社・NHK 大阪放送局の 6 社で構成する河南記者クラブ（富田林市役所内）や、ミニコミ誌等に対して、イベント等の記事提供、取材協力などを随時行いました。総件数は 27 件。

4. 河南地区広報協議会

河南地区 8 市町村の広報担当者が参加し、広報活動に関する調査研究、会員間の相互連絡を図りました。

魅力発信関係

街並みや自然、イベント等、市の魅力を市内外に発信し、交流人口の増加及び市への転入・定住を促進するため、大阪狭山市 Instagram フォトコンテストを開催しました。